

手芸倶楽部新聞

2014年
7月21日号
第15号



新メニュー紹介

前回もご紹介した「がまぐち」手芸ですが、もう作品一号が登場！

この方は、いままでのポーチ類もすべておそろいの布で作られています。がまぐちもお気に入りのこのマドラステックで作られました。「最初にこの生地で作ったのが、お裁縫をするきっかけになったから、なんだか愛着がわいてね。全部同じ柄で揃えちゃった」とおっしゃいます。

百均ショップの布でここまで楽しんで頂ければ、職員も本望です。又、この布を仕入れに、お店探しに行きますね！

作る度に腕をあげられ、縫い目が美しくなってますね。すごい！



伊藤機能訓練指導員より

編集後記にも書いてありますが、参加人数が多くなり、参加者の誘導や作業開始の準備に時間がかかっていきます。スムーズな運営が出来るよう尽力します。

次回は八月十二日(火)、地域交流室にて十五時より開催予定です。お楽しみに。見学も大歓迎です。

手芸のコツ

縫い物をするとき、針はできるだけ細かいものを使う方が、力の弱いかたでも、スツと縫うことができます。ですが、針に糸を通すのはより難しくなるので、そこはお手伝いしましょう。

パーキンソン病症状等、手に震えが出やすい方は、いったん針を置き、手を開いたり閉じたりするグーパー体操をしていただいて、少しお休みしてから再開しましょう。雑談をして、緊張をほぐすのも効果があります。

縫い目がそろわない時は、キセをかけて、ゆとりをもたせて裏返すと綺麗に見えます。

実はこれ、紫色の風呂敷をリメイクしたものですけれど、とてもそんな風にはみえない素晴らしい出来栄でした。

この方は以前お見えになったとき、ポケットティッシュカバーも作られた実力派。久々のお裁縫でした。が自信を取り戻され、「M.Y」指ぬきも持参されていらっしゃいました。



第十五回の手芸倶楽部は、職員の都合で少し遅れてスタートしました。それでもたくさんのご参加をいただき、本当にありがとうございます。選花フラワーアレンジでは、グラジオオラス、山百合、大きなバラをご用意。大きくて迫力のあるアレンジメントができあがりました。

また、シヨートステイからご参加いただいたご利用者様は、可愛らしい巾着袋を仕上げてくださいました。



編集後記：「ちょっと、迎えに来るのが遅いわよ」「あらー、もうお花がいいのがなくなってるわ」今回の倶楽部でいただいた苦情です。誘導係が一人だったので、お迎えの順番が遅くなった方がいたのです。申し訳ございません。できるだけ誘導が平等になるよう、職員もがんばります。お花は、新しく仕入れたものが全員に行き渡るよう、全員そろってから配るようになっているのですが、今回は早く来た方からスタートしてしまい、新入荷の花が足りなくなってしまったのです。以後気を付けたいと思います。(平戸)